※令和４年度以降入学生用

学校番号	404

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「MOUSAⅡ」　（教育芸術社）						
副教材等	「Music　Navigation」　（教育出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

音楽Ⅱでは、①器楽（1年次で学習した内容と打楽器）②歌唱（3部・4部合唱）③鑑賞④楽典（音楽理論）と創作、の４つの分野を学習します。グループワーク（アンサンブル）では、他の生徒さんと一緒にひとつの楽曲を作りあげることを目標にします。興味を持って積極的に参加し、楽曲の学習・練習に一生懸命取り組む姿勢が大切です。

2　学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することをめざす。（１）曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。（２）個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。（３）主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・歌唱・器楽表現に関わる知識や技能を総合的に働かせながら，個性豊かに歌唱・器楽表現を創意工夫している。 ・創意工夫や表現上の効果を生かした歌唱・器楽表現をするために必要な技能を身に付けている。 ・様々な音素材や様式、表現形態などの特徴について、表したいイメージと関わらせて理解すること。	・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考えることができる。 ・音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号について，音楽における働きと関わらせを理解している。	主体的・協動的に歌唱・器楽・創作・鑑賞分野の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	表現	・器楽 ・歌唱(二重唱)	a:：曲にふさわしい発声や奏法、言葉の発音、身体の使い方などの技能を理解することができる。 b: 他者との調和を意識して演奏・歌う技能を理解することができている。 c: 表現形態の特徴や表現上の効果を生かして演奏・歌う技能を理解することができている。	実技試験 取り組み状況 協働的な学習	実技試験 取り組み状況 協働的な学習	ワークシート 観察法
	鑑賞	・ルネサンス～ロマン派の楽曲	a: 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりを理解することができる。 b:音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりを理解することができる。 c:我が国の郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解することができる。	鑑賞シート	鑑賞シート	鑑賞シート
2学期	表現	・器楽アンサンブル① ・歌唱(三重唱) ・楽典(音楽理論)	a:：曲にふさわしい発声や奏法、言葉の発音、身体の使い方などの技能を考え、表現することができる。 b: 他者との調和を意識して演奏・歌う技能を考え、表現することができる。 c: 表現形態の特徴や表現上の効果を生かして演奏・歌う技能を考え、表現することができる。	実技試験 筆記試験 取り組み状況 協働的な学習	実技試験 ワーク 取り組み状況 協働的な学習	ワークシート 観察法 取り組み状況
	鑑賞	ロマン派以降の楽曲	a: 曲や演奏に対する評価とその根拠を考え、表現することができる。 b:自分や社会にとっての音楽の意味や価値を考え、表現することができる。 c:音楽表現の共通性や固有性を考え、理解することができている。	鑑賞シート	鑑賞シート	鑑賞シート

※令和４年度以降入学生用

３学期	表現	・器楽アンサンブル② ・歌唱(合唱) ・音楽史	a: 歌唱や器楽演奏に関わる知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに歌唱・器楽演奏を創意工夫することができている b: 他者との調和を意識して演奏・歌う技能を理解し、表現することができる。 c: 音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解することができている。	実技試験 取り組み状況 協働的な学習	実技試験 ワーク 取り組み状況 協働的な学習	ワークシート 観察法 取り組み状況
	鑑賞	鑑賞(器楽・歌唱課題に関連する楽曲)	a: 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりを理解することができる。 b:音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりを理解することができる。 c:曲や演奏に対する評価とその根拠と、自分や社会にとっての音楽の意味や価値を考え、音楽のよさ美しさを深く味わって聴くことができている。	鑑賞シート	鑑賞シート	鑑賞シート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度